
オープン・デバイス・アーキテクチャ NoTA に関するベンチャー Notava が横浜とフィンランドに誕生し、活動開始

【Notavaについて】

株式会社ノタヴァとNotava Oy（以下Notava）は、ノキア研究所における、携帯機器および組み込みシステムのための新しい設計思想とその実現のためのコア技術の研究開発の成果として、ノキアから同時にスピンオフした独立系ベンチャーです。（<http://research.nokia.com/node/5068>）

この研究開発によって生まれた技術が、NoTA（後述）であり、Notavaの創設メンバーは、NoTAのコンセプトを発明し、その仕様とソリューションを研究開発してきた研究者、技術者たちです。

【拠点設置】

スタートアップに際して、日本には、情報家電や通信機器、携帯機器などの電機メーカーから半導体メーカーまで、組み込みシステムについて世界に誇る技術をもったハイテク企業が非常に多く存在すること、および、オープン・アーキテクチャを推進するTRONプロジェクトをはじめとして、組み込み技術について最先端の研究開発が行われているという背景をもとに、グローバル展開を視野に、日本とフィンランドに同時に拠点を設置しました。

さらに、国内においては、組み込み技術への取り組みが積極的に行われていることと交通アクセスの両面から、横浜に拠点を設置しました。

【NoTAテクノロジー】

Network on Terminal Architecture (NoTA, www.notaworld.org)とは、機器内部を機能毎に分割しネットワーク化する設計思想であり、各機能ブロックを機器内ネットワークにシンプルに‘繋ぐ’ことを実現し、迅速な製品開発と多品種の両立を可能とする技術です。

（NoTA：分散モジュール疎結合ネットワーク型アーキテクチャ）

また、オープン・アーキテクチャとしてロイヤリティ・フリーのライセンスのもとに公開されており、誰でも使うことができます。NoTAをもとに多くのオープン・イノベーションが生まれることが期待されています。

【今後の方針】

日本法人では、Notavaのグローバル展開の重要な役割として、NoTAテクノロジーに関する専門技術とそのサービス、ソリューションを国内へ提供していきます。また、大学などにおける最先端の研究開発とも連携し、オープン・イノベーション創出に貢献していきます。そして、これらの事業活動を通し、NoTAの仕様、NoTAオープン・コミュニティとエコシステム構築へ強く貢献し、同時に、それらへの日本企業や研究機関の参加をサポートしていきます。

（裏面に続く）

【Notavaの概観】

<u>ミッション</u>	次世代インテリジェントユビキタス社会実現のため、多くの企業と協力し、携帯業界と組込み業界に広くNoTAエコシステムを構築すること
<u>拠点</u>	北欧フィンランド、日本
<u>人員</u>	5名(2009年6月、フィンランド4名、日本1名) => 12名(2009年12月予定)

【連絡先】

株式会社ノタヴァ / Notava Japan Inc. (www.notava.com)

<u>住所</u>	横浜市西区高島 2-19-12 横浜スカイビル 20F
<u>代表者名</u>	代表取締役 藤井 貴晴
<u>従業員数</u>	当初は1名体制、今後増員予定
<u>連絡先</u>	電話 045-440-6619
<u>業務内容</u>	携帯機器、組込みシステムのオープン・アーキテクチャ、ソフトウェア、ハードウェアの研究開発 および その開発にかかるコンサルティング、トレーニング、開発請負 など